

この「USB/Cubase LE 4スタートアップガイド」では、Cubase LE 4 をパソコンにインストールし、本製品の接続や各種設定を済ませ、録音を行うまでの手順を説明します。

Cubase LE 4のインストール

接続と準備

Cubase LE 4を使って録音

Cubase LE 4のインストール

接続と準備

Cubase LE 4を使って録音

MacOS X

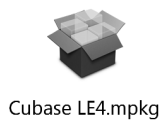
MacOS Xが動作するパソコンに本製品を接続し、オーディオの入出力ができるようにします。

1 本製品に付属するDVD-ROM"Cubase LE 4"をパソコンのドライブに挿入してください。

自動的にDVD-ROMの内容が表示されます。自動で内容が表示されない場合は、デスクトップに表示される"Cubase LE 4"アイコンをダブルクリックします。

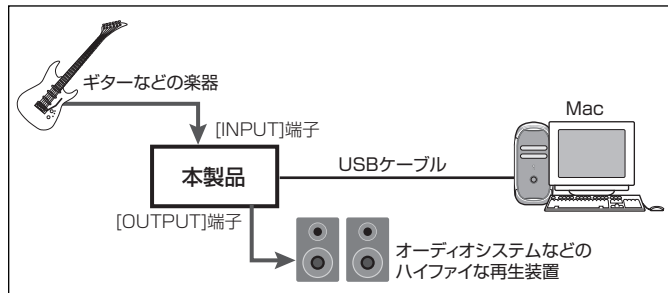
2 Cubase LE 4をMacにインストールしてください。

DVD-ROMの内容が表示されたら、"Cubase LE 4 for MacOS X"アイコンをダブルクリックして開き、"Cubase LE 4.mpkg"を使ってインストールを行います。



Cubase LE4.mpkg

3 本製品とMacをUSBケーブルを使って接続してください。



NOTE

USBケーブルは、高品位でなるべく短いものをお使いください。2m以上のUSBケーブルを通じて電源を供給すると、電圧低下の警告が出ることがあります。

HINT

USB接続を解除するのに、特別な操作は不要です。コンピュータに接続されたUSBケーブルを抜いてください。

4 "アプリケーション"フォルダから"ユーティリティ"フォルダを開き、"Audio MIDI設定"をダブルクリックしてください。

Audio MIDI設定が表示されます。"オーディオ装置"をクリックし、デフォルトの入力/デフォルトの出力として、"ZOOM S2tC5.1t Audio"が選ばれていることを確認してください。



他の項目が選択されていた場合は、プルダウンメニューを使って"ZOOM S2tC5.1t Audio"を選択してください。確認が終わったら"Audio MIDI設定"を終了します。

5 Cubase LE 4を起動し、"デバイス"メニューから"デバイスの設定..."を選び、デバイスの列で"VSTオーディオシステム"をクリックしてください。

Cubase LE 4を起動するには、"アプリケーション"フォルダに入っているCubase LE 4のアイコンをダブルクリックします。起動後は、デバイス設定ウィンドウの右側で、ASIOドライバとして"ZOOM S2tC5.1t Audio(2)"が選ばれていることを必ずご確認ください。



ウィンドウ左側のデバイスの列には、選択されているASIOドライバ"ZOOM S2tC5.1t Audio(2)"が表示されます。これをクリックして選び、デバイス設定ウィンドウの右部に表示される"コントロールパネル"ボタンをクリックしてください。



コントロールパネルでは、ASIOドライバのバッファサイズを変更することができます。バッファサイズは、録音/再生時に音が途切れない程度になるべく低い値に設定してください。



設定が終わったら、各ウィンドウでOKボタンをクリックして閉じます。

Cubase LE 4のインストール

接続と準備

Cubase LE 4を使って録音

MacOS X

6 Cubase LE 4の"デバイス"メニューから"VSTコネクション"を選び、表示されるウィンドウで入力/出力ポートに"ZOOM S2tC5.1t Audio(2)"の文字を含むデバイスを設定してください。



左上のタブを使用して入力/出力を切り替え、デバイスポートに"ZOOM S2tC5.1t Audio"が選ばれているかどうかを確認してください。他の入出力が選ばれている場合は、デバイスポートの欄をクリックして選び直します。

7 "ファイル"メニューから"新規プロジェクト"を選んでください。

プロジェクト用のテンプレートを選ぶ"新規プロジェクト"ウィンドウが表示されます。

8 テンプレートの"空白"が選ばれていることを確認してから、OKボタンをクリックしてください。

プロジェクトファイルの保存場所を選ぶウィンドウが表示されます。

9 保存場所（デスクトップなど）を指定してからOKボタンをクリックしてください。

新規プロジェクトが作成され、Cubase LE 4の操作の中心となるプロジェクトウィンドウが表示されます。



10 新規オーディオトラックを作成するには、"プロジェクト"メニューから"トラックを追加"を選び、さらに表示されるサブメニューから"オーディオ"を選択してください。

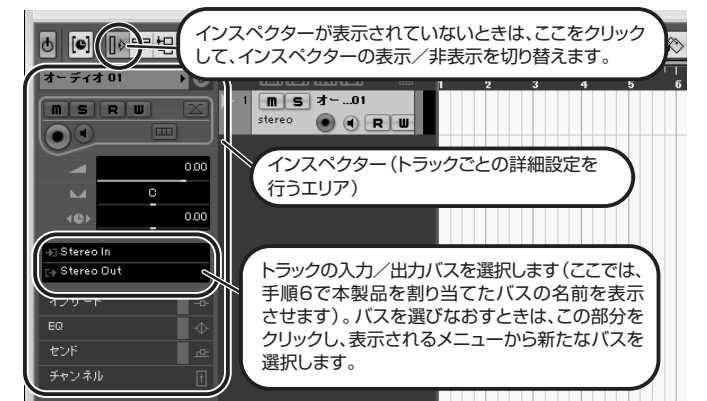
追加するオーディオトラックの数やステレオ/モノラルの設定を行う、"オーディオトラックを追加"ウィンドウが表示されます。



ここでは、追加するトラックの本数を1、ステレオ/モノラルの設定をステレオにしてOKボタンをクリックしてください。プロジェクトウィンドウに、ステレオの新規オーディオトラックが1本追加されます。



11 作成したオーディオトラックで、以下の設定を行ってください。

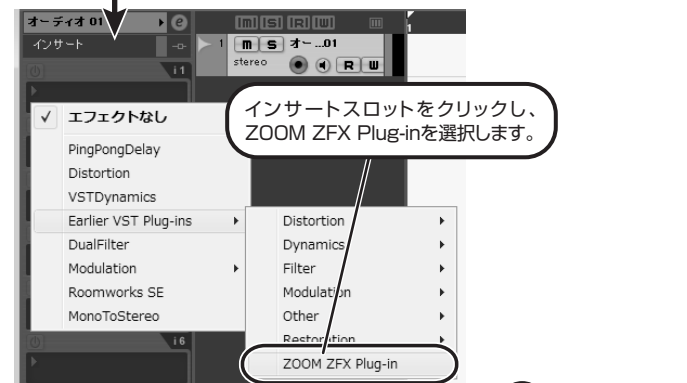


HINT

インスペクターは現在選択されているトラックの情報を表示します。何も表示されていないときは、トラックをクリックして選択状態にしてください。

12 本製品の[INPUT]端子にギターなどの楽器を接続してください。

13 録音するトラックにZOOM ZFX Plug-inを使用するには、次の手順に従って、挿入するZOOM ZFX Plug-inを選択してください。



ZOOM ZFX Plug-inが表示されないときは？

ZOOM ZFX Plug-inがインサートエフェクトのリストに表示されない場合は、以下の操作でZOOM ZFX Plug-inが収納されているフォルダの場所を指定してください。

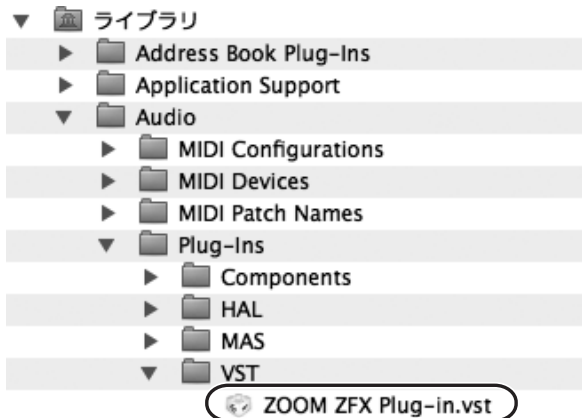
- ① CCubase LE 4の"デバイス"メニューから"プラグイン情報"を選び、ウィンドウを開きます。
- ② "プラグイン情報"ウィンドウで[VST 2.xプラグインのパス]ボタンをクリックします。



- ③ [追加]ボタンをクリックします。



- ④ 表示されるツリー図の中から、ZOOM ZFX Plug-in が収納されているフォルダ (Library/Audio/Plug-ins/VST) を選び、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑤ この変更を有効にするために、Cubase LE 4を再起動してください。

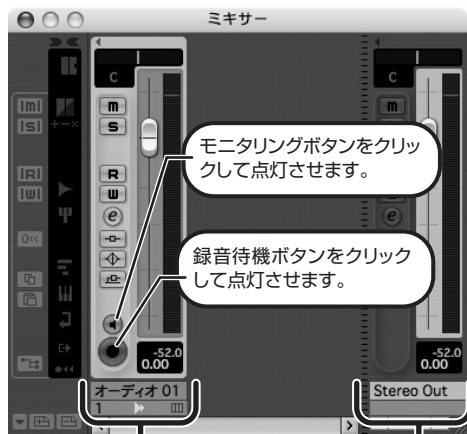
HINT

プラグインエフェクトは、トラックの入力（録音前）ではなく、出力（録音後）にインサートされます。このため、録音済みのデータには影響を与えずに、さまざまなエフェクトを試すことができます。

- ⑭ Cubase LE 4の"デバイス"メニューから"ミキサー"を選んでください。

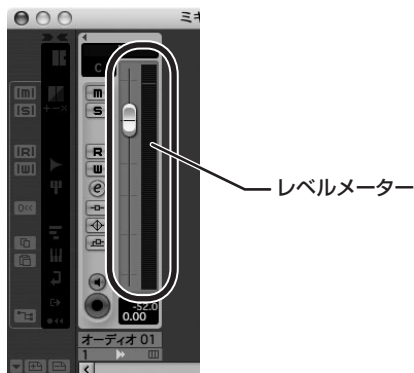
ミキサーウィンドウが表示されます。ミキサーウィンドウには、作成したトラックに対応するチャンネルとマスターチャンネルが表示されます。

ここでは以下の操作を行ってください。



オーディオトラックに対応するチャンネル マスターチャンネル

- ⑮ 楽器を演奏しながら、本製品の出力レベルを調節してCubase LE 4の録音レベルを決定します。



Cubase LE 4への録音レベルは、録音待機トラックに対応するチャンネルのレベルメーターで確認できます。メーターが振り切らない範囲で、なるべく高く設定してください。

なお、レベルを調節するときはCubase LE 4 側のフェーダーは動かさず、本製品の出力レベルを調節するようにしてください。

NOTE

上記のメーターには、Cubase LE 4内部で処理された後の信号レベルが表示されます。このため、ギターなどの楽器の弦を弾いてからレベルメーターが振れるまでに、若干の遅れが生じることがありますが、これは故障ではありません。

- ⑯ モニタリングボタンをクリックして消灯させ、本製品の[DIRECT MONITOR] ノブを使ってモニター音量を調節してください。

こうすることで、Cubase LE4は経由せずに、よりレイテンシーの少ない状態で、本製品から直接信号をモニターできます。

NOTE

プラグインエフェクトをインサートしている場合、上記とは逆に、モニタリングボタンは橙色に点灯させたままで、本製品の[DIRECT MONITOR]ノブを下げてください。このノブが上がっていると、モニター音がフランジャーがかかったような音になりますので、ご注意ください。

- ⑰ トラックパネルが表示されていることを確認してください。



トラックパネルが表示されていないときは、"トラック"メニューから"トラックパネル"を選択します。

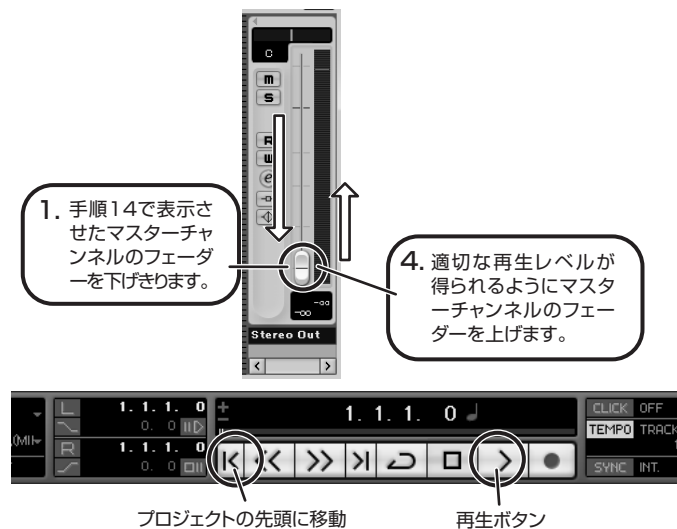
- ⑱ 録音を行うには、トラックパネルの録音ボタンをクリックしてください。



録音が始まります。楽器を演奏するとリアルタイムでプロジェクトウィンドウに波形が描かれます。録音を停止するには、トラックパネルの停止ボタンをクリックしてください。

- ⑲ 録音した内容を確認してください。

録音した内容は、次の手順に従って再生してください。



2. トラックパネルのボタンを使ってプロジェクトの先頭に移動します。
3. トラックパネルの再生ボタンをクリックして再生します。

HINT

録音後に再生ボタンをクリックしても音が出ない場合は、VSTコネクション (手順5) の設定をもう一度確認してください。

NOTE

なお、Cubase LE 4を継続してご使用いただくためには、アクティベーション (ライセンス認証 + 製品登録) と呼ばれる操作が必要になります。CubaseLE 4 を起動したときに、製品登録を求める画面が表示されますので、"今すぐ登録"をクリックしてください。インターネットブラウザが起動し、アクティベーションを行うWebサイトが呼び出されますので、このWebサイトの指示に従ってアクティベーションを行ってください。

快適にご使用になるために

Cubase LE 4を使用中に、極端にアプリケーションの動作が遅くなったり、「USBオーディオインターフェースとの同期がとれない」などのエラーメッセージが表示されたりすることがあります。このような現象が頻繁に起きるときは、以下のような点にご注意いただくと、改善される場合があります。

- ① Cubase LE 4以外に動作しているアプリケーションを終了させる
特に常駐ソフトなどが多く登録されていないかをご確認ください。
- ② Cubase LE 4で使用しているプラグインソフト（エフェクト、音源プラグイン）を減らす
プラグインが多い場合、パソコンの処理性能が追いつかなくなっていることが考えられます。また、同時再生トラック数を減らすことも有効です。

その他、アプリケーションの動作が極端に遅くなり、パソコン自体の操作に支障をきたす場合は、一度本製品のUSB端子をから取り外してCubase LE 4を終了した後で、再度USB 端子を接続してからCubase LE 4を再起動してみることをお勧めします。